

14 東京医科大学茨城医療センター

病院の概要

開設	1948 年
開設者	学校法人 東京医科大学
院長名	小林 正貴
病床数	501 床(許可病床)、398 床(稼働病床数)
標榜科 (26科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科

医師数	116名
指導医数	63名

研修医数	10名
------	-----

研修医の主な出身大学	東京医科大学 他
------------	----------

外来患者数	869.1名／日
-------	----------

入院患者数	355.2名／日
-------	----------

募集要項

応募資格	原則として第 116 回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し、新たに臨床研修を行う者
------	---

採用人数	10 名（未定）
------	----------

試験日程	2021 年 8 月 21 日（土）予定
------	----------------------

選考方法	（予定）筆記試験（医学、一般常識）、面接
------	----------------------

処遇	■身分：常勤医師 ■給与：1 年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約470万円（時間外勤務手当は別途支給） 2 年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約490万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：東京医科大学健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険 ■宿舍：有り（単身用・世帯用） ■その他：
----	---

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…研修医宿舎に宿泊可能（無料・要確認）
- 問い合わせ先
担当者：卒後臨床研修センター 事務局
TEL：029-877-1161（代表）
E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp



応募・問合せ先

東京医科大学茨城医療センター

〒 300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1

担当者：卒後臨床研修センター 事務局

TEL：029-887-1161（代表）

FAX：029-887-1355

E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp

URL：http://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/



■電車をご利用の場合車
JR常磐線 土浦駅よりバス 15 分
JR常磐線 荒川沖駅よりバス 15 分
■車（常磐自動車道）をご利用の場合
桜土浦インターより6km

女性医師支援

グランドカンファレンス・症例検討会の参加率基準の免除
院内保育所（ひまわり）の完備
メンター制度と卒後臨床研修センターの充実したサポート体制初期研修中に出産育児を行った研修医2名実績あり

研修プログラムの特色

- 1.少数精鋭のプログラム**
研修医の募集定員は、1 学年 10 名（予定）です。当センターの病床数、指導医数から考えると少ないかもしれませんが、しかしこの定員だからこそ、温かい雰囲気の中できめ細やかな寺子屋式指導が可能です。
- 2.基本的初期診療の修得**
十分な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。また2年間の研修期間を通じ ER 当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。
- 3.一人ひとりのキャリア形成に則した研修**
2 年次には幅広い選択肢を用意しており、キャリア形成を意識したローテーションを選択できます。
- 4.屋根瓦式教育体制**
豊富な指導医の下、後期研修医が初期研修医を、初期研修医2 年次が1 年次を、初期研修医が1 年間を通して実習している医学生に指導する屋根瓦式教育体制を実施しています。「教えることは、学ぶこと」を日頃から実践して、臨床能力を高めることが可能です。
- 5.充実したサポート体制**
生き生きとした研修生活を送れるよう、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップします。研修医一人ひとりにメンターが付き、相談役として研修生活とキャリア形成をサポートします。

※R4年度プログラムについては、現在、検討中です。プログラムが確定次第、当センターホームページに掲載いたします。

研修スケジュール例

研修スケジュール例												【基本】ローテーションイメージ																			
												救急：院内 1年次2か月＋2年次1か月 例) 内科4か月 外科・小児科・産婦人科 を1年次 に研修する場合※研修時期は異なります																			
1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	※原則として、当初の1年の後に地域医療を研修すること。 ※原則として、内科においては 24 週以上、救急部門においては 12 週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科及び地域医療においてはそれぞれ4週以上の研修を行うこと。																		
	内 科			選 択		麻酔		救急		外科		小児科													産婦人科		選択		内 科		
	必 修			選 択		必 修																			選択		必 修				
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																			
	精神科		地域医療		救急		選 択			内 科			選 択																		
	必 修			選 択				必 修			選 択																				

内科：呼吸器、消化器、循環器、腎臓、代謝内分泌、感染症、脳神経
外科：呼吸器、消化器、整形外科、脳神経、乳腺、泌尿器
救急：当院、筑波メディカルセンター病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター
小児科：当院、東京医科大学病院、土浦協同病院、日立総合病院
産婦人科：当院、筑波大学附属病院、日立総合病院
精神科：宮本病院

地域医療：北茨城市民病院、いわき内科クリニック、あだち内科クリニック、土浦ベリルクリニック、阿見第一クリニック
選択科目：当院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、茨城県立中央病院、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、ひたちなか総合病院、筑波記念病院（以上 7 施設は全科）、茨城県立医療大学付属病院、土浦協同病院、宮本病院、牛久栗和病院、等
1 年次は茨城県立中央病院にてたすきげ研修が可能

専門研修の募集について

※詳細は当センター ホームページをご覧ください

募集診療科		選考方法
◆基幹施設 ・内科専門医プログラム ・皮膚科研修プログラム ・麻酔科専門医研修プログラム	定員5名(予定) 定員2名(予定) 定員2名(予定)	書類選考 面接
◆連携施設 16の基本領域についても、連携施設として専攻医の受入れを行います。 内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理、救急科、形成外科、皮膚科、整形外科、小児科、放射線科、精神科、眼科、脳神経外科、麻酔科		

研修・認定施設一覧

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本睡眠学会認定施設
- 日本気管食道科学会研修施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設（日本呼吸器外科学会 / 日本胸部外科学会）
- 日本産婦人科学会専攻医指導施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 日本眼科学会研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
- 日本腎臓学会認定施設 / 研修認定施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本感染症学会研修施設
- 感染症の予防の疑似症に係る医療機関承諾施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本救急医学会専門医指定施設
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 / 教育医制度認定施設
- 認定臨床微生物検査技師制度協議会研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器集団検診学会認定指導施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本内視鏡学会指導施設
- 日本外科学会修練施設 / 専門医制度修練施設
- 日本がん治療学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
- マンモグラフィ検診精密管理中央委員会認定施設
- 日本精神神経学会認定施設
- 日本老年精神医学会認定施設
- 日本認知症学会教育施設
- 日本神経学会教育施設
- 日本脳神経外科学会認定施設
- 日本脳卒中学会認定施設 / 認定研修教育病院
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本プライマリケア学会研修認定施設
- 日本内科学会認定施設 / 認定医制度教育病院
- 日本糖尿病学会教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本麻酔学会認定施設・指導病院
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- 日本手外科学会研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
- 日本小児口腔外科学会研修施設
- 日本口腔外科学会認定関連研修施設
- 日本医学放射線学会専門医修練機関
- 日本アフェリシ学会認定施設
- 認定輸血検査技師制度指定認定施設

病院からメッセージ



研修責任者 屋良 昭一郎 卒後臨床研修センター長

東京医科大学茨城医療センターは病院全体で研修医の教育に取り組みます。当院は2 次救急医療機関であるため、多発外傷や重症熱傷などの症例は少ないですが、common diseases の臨床経験を積み上げるには最良の環境です。2 年間を通して救急外来の診療があり、病歴聴取、身体診察をはじめ、各種検査を自らの判断で遂行することによって骨太の臨床力が身に付きます。またそれらをサポートする先輩研修医と指導医の熱意、看護師、コメディカルの協力体制は当院が誇るものです。2 年という短い時間に集中して力を付けることのできる当院の研修は自信をもって勧められるものです。ぜひ一度見学にいらしてください。



研修医 兼重 彩夏

私が当院を研修先として選んだ理由は、雰囲気の良いさとプログラム内容の自由度の高さです。初めて見学に行った時、医師だけではなく他のスタッフの方々とても親切で、仲が良く、驚いたことを覚えています。働き始めてからも質問しやすく、働きやすい環境が整っていると感じます。研修医の募集定員は1 学年 10 名程度で、プライベートでも仲が良いです。そして、人数が多すぎないので、プログラム内容も自分の思った通りに組むことができ、1 人 1 人手厚い指導をうけられます。手技も診察も自分でどんどんやらせてもらえるので、しっかりとした臨床力を身に付けることができると思います。私は茨城県卒ですが、地域枠の従事要件があっても十分に満足いく研修生活を送れています。少しでも興味を持って頂けたら、ぜひ一度見学に来てみて下さい。待ってます！